

今こそ

## 総合的なまちづくりを示せ!



環状6号線要町排気塔

市長及び当局に対して、南北を通過する交通車両の円滑な交通体系を整備し、一般の生活道路への流入を避けるためにも、「総合的なまちづくり」の具体化を促進させます。また、外環道路特別委員会においては、都市計画廃止につなげるためにも、既存道路・概成道路の整備を通して、具体的に「外環ノ2の代替機能」をどのように具体的に確保していくのかの議論を深めてまいります。

40年間の事業凍結のなかで、計画線上または周辺にお住まいの方については、土地・家屋の売却・引っ越し・相続問題を始め、借地・借家・店子等の問題があります。また新居ご購入にあたっては、「重要事項」として不動産業者から説明を受けてお住まいの方々にとっては切実な問題でもあります。

地下方式建設が進んでいる環状6号線豊島区要町周辺を視察し、その排気口の巨大さと排気の影響への影響が懸念されます。

国土交通省と東京都は、4月23日都庁内で沿線区市長の意見交換会を開催。地下トンネルでの建設を計画している東京外環状道路(練馬区―世田谷区間、約16キロ)について、計画通り進める「対応の方針」を決めました。また、国は27日に国土開発幹線自動車道建設会議を開き整備路線化しました。さらに、地上部に建設予定の「外環ノ2」街路計画については、廃止を含めて話し合いを行うよう求めてきましたが、国と都は「一定の理解が得られた」として「方針を実現して外環の計画をより具体化していく」としました。

## 魅力ある文化創造都市であるために

1年間で「不況業種認定」を受けた武蔵野市内の事業者数の推移です。



昨年の世界金融危機の影響により、本市においても建設業で70～80%、製造業で90%の売り上げ減となっています(生活経済課調べ)。

市内7000の事業者のうち、7割が集中する吉祥寺では、昨年来、大型外食店、大型スーパー・百貨店、大手家電の閉店・撤退がつづいています。市は、本年1月1日付で、貸し渋り・貸しはがしに対応すべく「緊急保証制度」の枠を拡大、利子補給を行うなどの対応を図りました。先送りした公共事業の実施や入札の前倒しと前払い、庁内事務用消耗品費の一括購入などのさらなるテコ入れ、底上げといった踏み込みや、人材確保につながる「雇用調整助成金」給付などの積極的な周知が必要ではないでしょうか。また、そもそもまちの活性につながる大きな都市デザインが必要です。大型店と小売店が共存する「文化創造の魅かれてやまないまち―吉祥寺」でありつづけるために、今こそビジョンが必要です。

## 【 深 田 き み 子 の 議 会 活 動 】

- |                   |                 |                            |
|-------------------|-----------------|----------------------------|
| ①月 7日 賀詞交歓会       | ②月 4日 総務委員会     | ③月 5日 総務委員会                |
| 8日 4小どんと焼き        | 5日 文教委員会        | 6日 文教委員会                   |
| 9日 出初式            | 6日 三鷹市ヒアリング     | 9日 厚生委員会 特別支援教育推進計画策定委員会傍聴 |
| 11日 3小どんと焼き       | 7日 ヒューマンネット連続講座 | 10日 建設委員会                  |
| 21日 国立特別支援教育研究会研修 | 9日 建設委員会        | 11日 外環道路特別委員会              |
| 22日               | 10日 IT企業視察      | 13日～24日 予算特別委員会            |
| 24日 3小授業公開        | 12日 庁内ヒアリング     | 17日 境幼稚園修了式                |
| 25日 九浦もちつき大会      | 24日 ～3月定例会開会    | 19日 3中卒業式                  |
| 26日 議会運営委員会       | 27日 一般質問        | 25日 本宿小卒業式                 |
| 31日 ヒューマンネット連続講座  |                 | 28日 大野田ミニタウン 南町桜まつり        |

武蔵野市議会議員  
フカキミの

10

# 深田きみ子 《いっぽいっぽ通信》



2007年4月に議会に送っていただいてから、2年の歳月がたちました。市民のみなさまに少しでもお役にたてる議員として、鍛えて頂きながら、いっぽいっぽ成長させて頂いております。心から感謝申し上げます。この間、消えた年金など社会保障制度の混乱、新しい要介護認定の導入による介護不安など私たち国民の信頼を揺るがす出来事や、世界的金融経済危機による雇用不安、新型インフルエンザの脅威など、私たち市民の生活を脅かす出来事が起っています。武蔵野市も決して無縁ではありません。今こそ、セーフティネットとしての「自治体の真價」が問われるときです。後追い行政ではなく、「実は厳しい現実の武蔵野市」の数値データのありのままを分析、市民の皆様にもくっきり見える化>して、「10年、20年後の武蔵野の未来」を描けなければいけません。任期後半も、みなさまの声を「耳・目・心」でしっかり受け止め、全身全霊全力投球で臨みます。いやましてのご声援ご支援を、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。――深田貴美子

## 二次災害から市民を守れ!

――福祉避難所・避難室の早期設置を!!

災害の直後には、あなたも、私も、誰もが瞬時にして支援が必要な立場になる可能性があります。そして特に、ご高齢の方、大勢の人がいる場所が苦手な方、透析や糖尿病などの特別な手当が必要な方、妊娠中もしくは出産後間もない方、大切な人を失って心のケアが必要な方など「個別に支援が必要な方々への可能な限りの避難所体制づくり」が必要です。

平成7年阪神・淡路大震災での教訓を踏まえて、厚生労働省では「福祉避難所設置・運営に関するガイドライン」(平成20年)において、特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどの老人福祉施設、公共・民間の障害者施設、民間ホテルや旅館などを「二次避難所＝福祉避難所」と位置づけ、特に援護が必要な方々が安心して過ごせる避難所の体制づくりを求めています。

本市においては、「武蔵野市防災計画」(平成20年改訂)に記述されていますが、未だ体制が整っていないことから、早期設置を求め、平成21年度中に「福祉避難所・福祉避難室」の設置を実現する回答を得ました。



## 多様性を認めあってこそ! 「市役所の活性化計画」

――「ダイバーシティ&インクルージョン」な組織づくりを。

市役所を示す「庁」の字は、旧字で「廳」と書きます。今、一人ひとりの市民の声を耳をかたむけ、目と心で聴いていくことが求められています。ところが相手の立場や状況が理解できないと、かゆいところに手が届く行政サービスにはなりません。そのためには、市役所も「それぞれの背景や考え方の違いを認め、理解できる」職員を育てていく必要があります。

民間では、人種、国籍、居住地、性別、性の嗜好、年齢、教育、母国語、配偶者の有無、身体的特性などの属性にかかわらず、「ダイバーシティ(多様性)&インクルージョン(包摂)」を取り入れた活力のある組織経営が顧客満足度を高めています。

今回の一般質問では、市民サービスの向上につながる「市役所の活性化・多様化計画」として、女性職員のキャリア形成、障害者が働きやすい職場の条件整備、中高年雇用の拡大を強く求め、市側より本年度から、より積極的に取り組むとの回答を得ました。



ご意見、ご要望を  
聞かせてください!

メール ippo-ippo@fukakimi.net  
または電話 090-8025-4457 まで

# なんてったって現場主義!全力投球!いぼイノシシ!!

深田きみ子 ▶▶▶ 皆様と一緒に実現 ▶▶▶ いっばいっばい実現にむけて奮闘中

◎…実現できました!! ☆…あと一歩実現にむけて奮闘中

## 子育て世代のために

- ◎小中学生医療費助成の拡大
- ◎病後児保育の拡大
- ◎妊婦検診費用助成拡大
- ◎保育園1歳児入園枠の拡大
- ◎青少年の居場所づくり～「武蔵野プレイス」内に実現
- ◎「第2次子どもプランむさしの」の策定
- ☆病児保育施設の設置
- ☆「支えられ感」のある子育て支援施策の充実
- ☆「子ども条例」の制定
- ☆ブックスタートの拡充
- ☆助産師の方々との連携の充実と医師会からの支援拡充

## 高齢者の方々がいつまでも安心して暮らせるために

- ◎高齢者の民間アパート賃貸契約保証
- ◎傾聴を取り入れた認知症サポートの充実と拡大
- ◎災害時要援護者支援事業の推進とフォローアップ
- ☆新介護認定後の生活実態調査
- ☆庁内地域包括支援センターと地域ケア体制の検証
- ☆公共施設および道路のバリアフリー化
- ☆格差社会に配慮した多床型高齢者施設の設置・拡大
- ☆介護する方へのサポートと相談窓口の充実

## 障害(児)者の方々と共に

- ◎市役所における障害者の雇用拡大
- ◎発達障害の早期発見対応と支援充実(みどりのこども館)
- ◎「おもちゃのぐるりん」での安全・適正な玩具の導入
- ◎医療玩具の導入
- ☆子ども発達支援センターの設置
- ☆障害児の放課後の居場所の多様化
- ☆高次脳機能障害者への相談窓口設置の周知徹底

## 私たち女性のために

- ◎男女共同参画センターの充実
- ◎男女共同参画推進のための専門的人材の登用
- ◎DVIに対応する女性総合窓口の設置
- ◎市役所嘱託に女性の再就職拡大
- ◎ひとり親の就労支援のために産業カウンセラーを配置
- ☆男女共同参画条例の制定
- ☆男女共同参画センターの移転と条例化

# フカヒレとぴっくす=3

## 校務の情報化

教育現場が求める、先生に一人一台のパソコンの配備が、武蔵野では20%の普及率であることを指摘しました。市側の説明が不十分であったことは否めません。しかし、議会側にも異論を唱えるデータが不正確であったり、理解にも課題があったことは明らかで、「付帯決議」で予算実施凍結まで求めるのは合理的とは思えません。国は補正予算15兆円では、すべての自治体を対象に、ユビキタス社会にむけたICT整備として文科省2,087億円、総務省3,955億円の補正予算を組んでいます。取り損なうことは、それこそ税金の無駄遣い。早急に対応するよう市には求めています。

## 介護する方の気持ちを支える相談窓口の充実を!

介護＝ケアは、「介護される人の気持ちに添うように～」という「思いやり＝感情」が伴う行為です。でも、時に「辛い」と感じることは、恥ずかしいこと、罪なことではないのです。互いに語り合ったりする場や、気軽に身近に相談ができる受け皿を作りを目指します。

## 高齢者の住宅斡旋

ひとり暮らしの高齢者の方のご相談から始まりました。高齢であること、おひとりであることによって大好きなまちに住めないなんて不公平ですね。市は、この春から民間アパートをお探しの高齢者のために、相談・保証会社斡旋を始めました。見守りサービスもついています。こうしたことこそ「最後のよりどころとしての自治体の仕事」なのです。

## 予算下方修正6億円!

予算委員会において、リーマンショック後の予算修正について尋ねたところ、「事業を次年度に先送りする、再度見直し検討を図る」などの内部努力で、6億円もの予算下方修正を行っているとの答弁を得ました。不交付団体武蔵野といえども、今後の財政の見通しは、楽観できない時代となってきました。

## 格差社会に配慮した個室にこだわらない多床型高齢者施設の設置を!

だれもが慣れ親しんだこの武蔵野で暮らしつづけることが願いです。特養は狭き門、有料施設はとて年金で賄える価格ではありません。預金を取り崩しての心細い生活を送ることなく、安心して暮らせるグループホームの設置を目指します。

## 耐震化の前倒し推進

平成18年の耐震診断の結果、市内公立小中学校8校13棟が耐震基準を満たしていないことを指摘し、3年計画の改修予定を2年間の前倒し工事にするよう要望しました。ちょうど国の補正予算にも合致できたことは幸いでした。

## 生ごみをちゃんと堆肥化しようよ!

例えば、集合住宅でディスポーザーで粉碎した生ごみが、そのまま燃えるごみになっては意味がありません。集めて堆肥化すれば、とてもエコ!

## 「第2次子どもプランむさしの」策定に子どもたちの声を取り入れて!

「次世代育成支援行動計画」の策定にあたっては、三鷹市では、子育て家庭の保護者だけでなく、市内3つの小学校の5年生を対象に子どもの声も取り入れていることから、本市の策定にも反映するよう要望し、実現しました。

## 教育センター(仮称)設置を急げ!

理科実験学習の充実、武道の必修化、ICT情報化の活用、小学校での外国語教育、特別支援教育への対応についての研修・研さんの場として、いじめ・不登校などの就学相談の窓口として、「教育センター」の設置は急務です。

## 教育・保育の現場のために

- ◎8校13棟の小中学校耐震改修工事の前倒し
- ◎理科支援員の配置と理科室の整備拡充
- ◎教育用パソコンの整備
- ◎小学校でのALT導入による外国語教育の充実
- ◎特別支援教育推進計画の策定
- ◎小中学校児童・生徒用防災用品の整備
- ☆地上デジタル放送対応のデジタル・テレビの教室設置
- ☆校務・教務用パソコンを教員一人一台の整備
- ☆言葉の成り立ちを学ぶ日本語教育の推進
- ☆図書室司書導入と図書館の連携
- ☆個別の支援ファイルの作成
- ☆発達障害への理解周知の徹底
- ☆副籍制度・特別支援学校との交流と充実
- ☆学校施設のバリアフリー化の拡充
- ☆セカンドスクールの見直し
- ☆研修・研さんのための教育センター(仮称)の設置
- ☆サイエンスフェスタだけでなく、理科実験教室の設置
- ☆通級教室の備品と環境整備の拡充
- ☆不登校への丁寧なサポートとひきこもりの方々への訪問・相談支援拡充
- ☆生涯学習を支える図書館計画の充実
- ☆アナフィラキシー対応のための「エビベン」導入

## 行財政改革と情報化(ICT)の推進のために

- ◎ダイバーシティ・マネジメントの導入による中高年・障害者雇用の拡大
- ◎協働サロンに専門的人材の配置
- ☆自治基本条例の早期制定
- ☆ファシリティ・マネジメントの導入
- ☆統合型地理情報システム(GIS)の活用拡大
- ☆武蔵野市HPの検索機能充実
- ☆庁内情報化の最適化・効率化
- ☆都市マスタープランの改定と景観条例の策定
- ☆地デジ放送に伴う公共施設へのデジタル・テレビ導入と電波障害の解消

## 健康と環境を守るために

- ◎落書き消しちやい隊の活動継続と拡大
- ☆まちにあふれる自転車対策のための調査研究
- ☆学校緑化と環境教育の導入
- ☆コンポストやディスポーザーの普及による生ごみの堆肥化推進
- ☆在宅で療養する「自立支援医療」対象の方への医療的支援と拡充

## 安全を約束するために

- ◎家具転倒防止支援策の拡充
- ◎災害用トイレ(1校につき10基)の設置・拡充
- ◎災害時の飲料水兼用耐震性貯水槽の設置拡大
- ◎避難所に医療薬剤の備蓄配備
- ☆特別な支援が必要な方のために福祉避難所・避難室の早期設置
- ☆避難所でのペットの居場所の確保
- ☆BCP/BCMの導入による災害後の事業継続体制の拡充